

「柏崎刈羽原子力発電所の過酷事故時における対策の考え方（新潟県作成）」 に対する意見

基礎自治体の首長に求められる使命とは、事業者や国等に対し、福島第一原子力発電所の事故のような原子力事故が二度と起こらないように、あらゆる手だてを講じることである。まちの将来、住民の幸せを深く考えれば考えるほど、100%の安全性の確保をめざし、どこまでも追求する努力を怠ってはならない。あらためて強い決意と覚悟を持つ必要がある。

一方で、万が一を想定した避難計画等についても強く求められており、策定にあたっては、国の指針に基づき、国、県、市町村が連携を密にして、真に実効性のある内容とすることが肝要である。

県内25市町村で構成する「市町村による原子力安全対策に関する研究会」では、9月から実効性のある対策について研究を積み重ねてきた。その研究成果を生かし、この度、新潟県が示した「柏崎刈羽原子力発電所の過酷事故時における考え方」に対し、基本的な意見を以下のとおり取りまとめたものである。

ここには現場の思いが込められている。知事におかれては十分に斟酌いただき、現場をあずかる市町村長とともに、実効性のある原子力安全対策を担っていただくよう要望するものである。

○ 基本的な考え方

1 原子力発電所の安全性の確保こそが最も重要である

避難などほとんど考える必要がないほどの原発の安全性を求め続けることこそが最も重要である。

2 避難計画等は実効性が重要である

とりわけ、避難計画を担保する全県配備のモニタリングポストについては、十分な観測網を早急に整備するとともにデータの共有化等が必要である。

また、安定ヨウ素剤は、全県的な配備はもとより、服用方法についても明確な方針を示すとともに必要に応じて法改正を国へ要望すべきである。

3 法制度の整備等、国との連携の中で進めるべきである

電力事業者は当然のこと、広域調整を伴う原子力災害において、国、県、市町村の役割分担と責任を明確にしつつ、特別立法など法整備を含め、国、県、市町村が連携した実効性のある防災体制を構築することが重要である。

＜県への提案＞

県と市町村の連携による原子力防災対策を構築するため、県と市町村の実務担当者によるワーキンググループの設置を提案する。

○ 個別事項に対する意見

- 1 今後の原子力防災対策については、まず、原子力安全委員会が定める防災指針の見直しの動きを受けつつ、県と市町村とで調整を図りながら、決定していくことが肝要である。
- 2 原子力災害時において最も大切なことは、いかに冷静に対処するかである。従って、以下の項目について、国、県、市町村があらかじめ計画を練っておくことが肝要である。
 - ① 災害の事態をどのように的確に把握するのか
 - ② 放射性物質の拡散を正確に把握し、将来予測をどう立てるのか
 - ③ これらの情報をもとに、国、県、市町村がどのような役割分担で対策を決定するのか
 - ④ 避難指示における国、県、市町村の責任分担をどうするのか
 - ⑤ 避難対象者の優先順位をどうするのか
 - ⑥ 交通手段の確保をどうするのか
 - ⑦ 交通整理をどうするのか
 - ⑧ 避難路・避難施設の整備や、道路損壊時の避難をどうするのか
 - ⑨ 自主避難者への対応はどうするのか
 - ⑩ 降雪期における避難計画をどう組み立てるのか
 - ⑪ 安定ヨウ素剤をどのような手順（医師の立会い）で配布し、確実かつ安全に服用させるのか、また投与の対象者をどう把握するのか
 - ⑫ 避難者の受入に伴う物資を誰が備蓄するのか
 - ⑬ オフサイトセンターが機能するために、立地場所等は現行のままで良いのか、また代替施設はどうか 等
- 3 避難対策を行う範囲については、距離による圏域設定を先行するのではなく、地形・気象・行政区域等についても検討が必要である。また、避難先の決定、避難指示を誰が行うのかについても十分に検討すべき課題であり、今後、このように山積している課題は、国、県、市町村で十分な議論を重ねた上で方針を決定していくべきと考える。
- 4 原子力防災体制の整備には莫大な費用と時間を要することから、各市町村の防災対策事業に対して、国、県からの十分な技術的支援、財政支援がなされるべきと考える。

平成23年12月16日

新潟県知事 泉田 裕彦 様

市町村による原子力安全対策に関する研究会

代表幹事 長岡市長 森 民夫

幹事 新潟市長 篠田 昭

幹事 上越市長 村山 秀幸

三条市長 國定 勇人

新発田市長 二階堂 馨

小千谷市長 谷井 靖夫

加茂市長 小池 清彦

十日町市長 関口 芳史

見附市長 久住 時男

村上市長 大滝 平正

燕市長 鈴木 力

糸魚川市長 米田 徹

妙高市長 入村 明

五泉市長 伊藤 勝美

阿賀野市長 天野 市榮

佐渡市長 高野宏一郎

魚沼市長 大平 悦子

南魚沼市長 井口 一郎

胎内市長 吉田 和夫

弥彦村長 大谷 良孝

田上町長 佐藤 邦義

津南町長 上村 憲司

関川村長 平田 大六

オブザーバー 柏崎市長 会田 洋

オブザーバー 刈羽村長 品田 宏夫